

りす俱樂部

2019 年
9月号
第274号

蛩袋（ホタルブクロ）

林道脇のやや日陰に、釣鐘型の花がうつむいて咲いている。関西では白、関東では赤紫に染まるホタルブクロ。清純な乙女のようなだと愛されている。子供が、飛び交う蛩を袋の形をした花の中に入れて遊んだことが名の由来と言う説もある。ホタルブクロの花言葉は、誠実、感謝の気持ち。スケッチしていたら、かすかな風に揺れて微笑んでくれた。こちらが感謝したい気持ち。

弁護士 福井大海



GONGOVA（ゴンゴバ）に参加して

りすシステム新事業担当顧問 若槻 達夫

りすシステムは、川嶋辰彦先生が主宰するNPO国際ヴォランティア団体GONGOVA（草の根国際協力研修プログラム）の活動に、スタッフ派遣等ささやかな支援を継続している。

補佐）が活動内容の詳細を紹介している。

今回筆者は2019年8月15日から29日まで、アカ族とリス族の住むバン・メーモン村の活動に参加した。

活動の内容自体は前回の報告とあまり変わらないので、第270号も併せてご覧いただきたい。

※アカ族

タイ、ラオスの北部国境地帯に居住する山岳民族。中国雲南省に起源をもち、言語はチベット・ビルマ語族に属する。

※リス族

中国、ミャンマー、タイ、インドの4ヶ国の国境にまたがって分布する、山岳少数民族である。

本誌第270号（2019年4月号）で、バンマエホエヒア村での活動に参加した遠藤現代氏（りすセンター・新木場センター長

1997年から始まるGONGOVAは、年2回のペースでタイ北部の山岳少数民族の集落（1ヶ所ではなく、ケースを増やしなが
ら現在およそ15ヶ所の地域に広が
っている）に、日本の小中高大学
生や、タイの大学教授や学生が参
加して、集落の人々と2〜3週間、
寝食を共にしながら様々な活動
をしている。

バン・メーモン村

バン・メーモン村では、写真の向かって正面左の村長に、現地作業の指導はもとより、食事から日常生活全般にわたって大変お世話をいただいた。

真ん中の女性は村長の母親で、40年程前にミャンマーからこの村へ入植してきた人である。彼女は誇りの象徴であるアカ族の衣装をいつも纏まとっている。



村長(左)と村長の母親(中央)



バン・メーモン村

GONGGOVA 活動の発端

本稿では、このGONGGOVA活動の発端について紹介したいと思う。

GONGGOVAの「理念と行動コード」の冒頭には、次の様に記されている。

GONGGOVAの主な目的は、タイ国の発展途上地域に於いて山村支援活動を進め、日タイ両国から活動に参加する青年たちの、人間的成長を促すことにあります。この目的の拠って立つ理念は、世界人権宣言が謳う「人権 human rights」の尊重に

あり、この理念に照らしGONGGOVAの現地研修プログラムの目ざすところは、「人が人らしく扱われる社会」を大切にすることを心がけ、参加青年たちの内面により広やかに育つ環境(場所と機会)を、国際ヴォランティア活動の枠組を介して提供する点にあります。

世界人権宣言に基づき、人が人らしく扱われる社会(世界)を目指し、そのような心馳せが育つように参加青年たちへ、「場所と機会」を提供するというのが目的とこの意である。

さらに、「The plan without planning is the best plan」と喝破している。

事前プランにしがみつくとではなく、あくまでも与えられた場所と機会のもとで、現地の人々と、一緒に行った仲間との活動を通じて、自分で何かを感じながら自分で考え行動しなさい、ということなのだろうと理解できる。つまり、このヴォランティア活動は、参加する青少年たち(主として大学生)の自己成長のための活動の場であるともとれるのである。

一番の関心は、なぜタイ北部の山岳少数民族居住地域なのかだが、GONGGOVAの活動が実現して実績を積む過程には、写



左：川嶋辰彦先生 右：チャカパン先生

真（左）のお二人の出会いによる所が大きい。

向かって左側の川嶋辰彦先生、右側の Prof. Dr. Chakrapand Wongburanavart（チャカパン先生：タイ国チエーンライ・ラチャパット大学教授）のお二人である。この写真は2019年8月23日に、バン・メーモン村で筆者が撮ったものである。

1970年代の初めに、川嶋先生がペンシルヴァニア大学の専任講師だった頃、同大のカリキュラムにあったヴォランティア活動を知り、いつか日本でもと考えた由。

同じ専門分野であるが故に米国で友人となり、その後、タイ国の国家経済社会開発庁長官となったP・パカッセン博士から、1996年に紹介された方が、このチャカパン先生である。

このお二人の出会いが、川嶋先生が以前から温めていた海外ヴォランティア活動を、1997年から実現出来る起点になったと聞く。

学生を中心とした日本の青年を、海外の辺鄙などに引率して、現地で長期間ヴォランティア活動をするわけだから、安全確保が一番で、そこには随分、時間と神経を要したことだろうと思う。

地域の行政や警察にもきちんと話が通せて、情報を得て、現地の住民とも折衝して、了解を取り付けしないと、事は進まない。

タイ国サイドの話がすんだところで、今度は学生を送り出す側の大学の教授会等が、その企画を認めてくれるかというハードルも高かったのではないかと思う。多くの困難をお二人で分担して乗り越え、現在の形が出来上がってきたのだと思う。

以来、国境を越えて二人の友情は続き、GONGGOVAの活動が20年以上も維持され続けている。

活動を通して

NPO活動というのは、いくつかの企業や団体からの寄附金なども、肝要な原資になつていられると思われるが、それぞれの支援者からの理解と協力を、これだけ長きにわ



参加者が製作した東洋ミツバチの養蜂箱とコーヒー豆の苗木と記念撮影

たつて維持出来てきたのも、この「目的と理念」を愚直なまでに実現し、かつ一度も事故を起こさなかったことであろう。

GONGGOVAの「目的と理念」を広義に「人を育てる」ことだと理解することが許されるならば、このことは、全ての団体や企業はもとより家族に至るまで、人類共通の課題であることを強く感じた。



村の子どもたちと日本の小学生



養蜂箱をリレーで運ぶ

幼い頃からこのような「場所と機会」を与えていけば、人は育っていくということなのだろう。

上の写真は、バン・メーモン村で、日本の小学生に、タイ人通訳（タイ語⇄英語）が村から見える景色を説明しているところである。

何語を使っていたかは分からない、なんともほっこりするシーンだ。



山間部にある村



食事風景

日本生命保険相互会社との協業に関してのお知らせ

NPO りすシステム代表理事 杉山 歩
NPO りすシステム法律顧問・弁護士 長谷川 範子

本誌第267号（2018・2019年12・1月合併号）にて、日本生命保険相互会社との協業についてお知らせしました。

にりすシステムの生前契約を広める必要が非常に高いこと、りすシステムの先進性とこれまでの活動実績、及びその努力を高く評価していただきました。

同社とは、同社の契約者の方向けの新しい形の生前契約を提供する構想を練っておりましたが、主に、りすシステムがこれまで積み重ねてきた個々の利用者の皆さんと、りすシステムとの信頼関係に基づき契約関係と、大企業である日本生命との関わり方をどうするか、非営利活動法人と大企業との方針を擦り合わせる

ことが困難ということが分かり、現在は白紙の状態となっています。

このことから、りすシステムは、さらにこの活動を全国に広めていかなければならないという決意を新たにし、これから利用者の皆様の契約家族として、一人ひとりの利用者の皆様に必要とされるサービスを提供すべく、すべてのスタッフが一丸となって努力することを確認しました。

動法人と大企業との方針を擦り合わせる

日本生命からは、今後、りすシステムの生前契約を希望される日本生命の顧客

今回の検討の中で、日本生命からは、りすシステムが現代社会において必要とされている仕組みであり、全国津々浦々

をご紹介いただくこともあります。りすシステムを選択するかしないかは利用者となる方の任意に任せられ、その後、契約締結に至った場合には、これまでの利

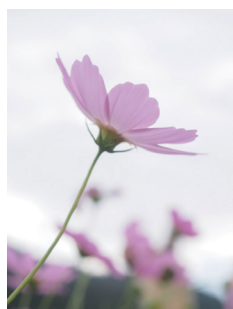
用者様と全く同じようにご契約をいただき、すべての責任をりすシステムが持つこととなります。

りすシステムはこれまで通り、そしてこれまで以上に利用者の皆様の契約家族として、誠実に実直な活動を続けていきます。

また、同時に検討を進めていた預託金の保全方法については、日本生命の検討とは別に現在も検討を進めておりますので、今しばらくお待ちいただきましたようお願い申し上げます。

りすシステムは、これまでの良さを大事にしながら、より安心できる仕組みを構築すべく努力いたします。

これからも、りすシステムをどうぞよろしくお願いいたします。



日本水彩展・地方巡回展



8月9日(金)
広島展
福屋八丁堀本店



9月6日(金)
神戸展
兵庫県立美術館
王子分館





いす友 おたより 紹介コーナー



介護医療院にお勤めの利用者の方から、お便りをいただきました。

私の勤務している老人施設は、別府市にあります「介護医療院むらはし」といいます。

スタッフは、施設長・生活相談員・医師2名・看護師長・看護師13名・介護福祉士13名・介護士6名・介護支援専門員・薬剤師・理学療法士・言語聴覚士・栄養士の多職種が連携し、利用者の生活を支援させていただいています。利用者数は60人です。

介護医療院とは、長期的な医療と介護の両方を必要とする高齢者を対象に、「日常的な医学管理」や「看取りやターミナルケア」等の医療機関と、「生活施設」としての機能を提供できる介護保険施設のひとつです。

「重篤な身体疾患を有する方や、身体合併症を有する認知症高齢者

の方等に、長期療養を行う」ことを目的としているため、65歳以上もしくは40歳以上で特定疾患などがあり、要介護3以上の方が対象となります。

では、介護医療院むらはしの理念をご紹介します。「ひとりひとりの尊厳を守り、意思を尊重した暮らしを支える」です。利用者様やご家族様の意思を尊重し、自己決定できるよう支援を行い、安心して過ごせるようにあたたかい気持ちで接し、家庭的な環境づくりに日々努めております。

施設サービスは、散髪(月1回)、レクリエーション(月1回)などがあります。

次に、今年度の取組みを2つご紹介させていただきます。

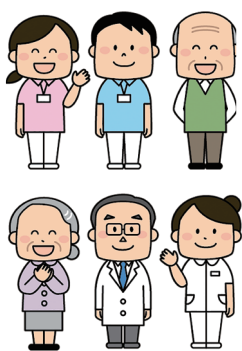
1つめは、「看取りケア」です。人生の最終段階を迎えている方に、その方らしい生活を送ってい

ただけるように支援を行います。まず、ご本人様やご家族様の思いを伺い、その思いに寄り添うケアを行うために多職種で話し合い、全スタッフで共有し、ケアを行います。

2つめは、排泄ケアの取組みです。利用者様の排泄パターンは、それぞれ違いがありますので、その方に合った排泄ケアを考え、快適な生活が送れるように支援を行います。

最後に、介護医療院むらはしは、利用者様やご家族様に寄り添い、その方らしい生活を支えられるような施設づくりをめざします。

大分県 首藤育代様



《お知らせ》

どの支部の行事でも参加できます。事前に連絡ください。

東日本支部 暮らしのよろず相談会

▽日時..10月20日(日) 10時~15時

11月20日(水) 10時~15時

※毎月20日に行います

▽会場..りすシステム東日本支部(本部)

北の丸ガラスゲート1階

▽担当..

森 妙子(消費生活アドバイザー)

生前契約スーパーバイザー)

松島如戒(不動産コンサルタント)

杉山 歩(りすシステム代表理事)

末藤康宏(りすネット不動産事業部 部長)

宅地建物取引士

福祉住環境コーディネーター)

▽締切..1週間前までにお申込み下さい

東日本支部 法律相談

▽日時..10月16日(水) 13時~15時

11月11日(月) 13時~15時

▽会場..りすシステム東日本支部(本部)

北の丸ガラスゲート5階

▽担当..長谷川範子弁護士

▽締切..1週間前までにお申込み下さい



東日本支部 見学会

「りすセンター・新木場」見学会

▽日時..10月12日(土) 13時30分~

11月12日(火) 13時30分~

※毎月12日に行います

▽締切..前日までにお申込み下さい

※新木場駅前ロータリーから送迎の用意があります。

13時に集合下さい

※Ai(死亡時画像診断)装置の見学もできます

西日本支部 談話サロン

▽日時..10月23日(水) 12時~14時

11月23日(土) 12時~14時

▽会場..りすシステム西日本支部

▽参加費..500円(軽食をご用意します)

▽締切..3日前までにお申込み下さい



西日本支部 法律相談

▽日時..10月16日(水) 13時~15時

11月20日(水) 13時~15時

▽会場..りすシステム西日本支部

▽締切..1週間前までにお申込み下さい

※定員になり次第、締め切ります

各地の秋の例会

※お申込みの方に詳細をお知らせします

西東京ブランチャ 例会

茶飲み処でお茶と和菓子を楽しみましょう

▽日時..10月31日(木) 13時~15時30分

▽集合..西武新宿線航空公園駅 改札前

13時集合

▽会場..所沢航空記念公園 彩翔亭

▽参加費..700円

▽締切..10月24日(木)までにお申込み下さい

※定員(25名)になり次第、締め切ります

※りすシステム代表・杉山も参加します

中部日本支部 例会

愛知県・常滑散策に出かけましょう

▽日時..11月6日(水)

▽参加費..2000円

▽締切..10月30日(水)までにお申込み下さい

※定員になり次第、締め切ります

西日本支部 例会

常寂光寺での紅葉狩りとお食事を開催

▽日時..11月12日(火) 11時~

▽集合..JR線嵯峨嵐山駅 11時集合

▽食事..鳥居本遊山

▽参加費..3000円

↑(次ページへ)



昼食付 施設見学会

【ケアハウス ロイヤルの園】

〒359-1152 埼玉県所沢市北野3丁目1-22

ケアハウス ロイヤルの園は、高齢者の安心と生きがいのある生活を支援する施設です。施設内は車椅子でも利用しやすく、高齢者が自立した生活を送れるよう工夫・配慮がなされています。

▽日 時：10月23日（水）11時～

西武池袋線 小手指駅 南口ロータリー 11時集合

▽参加費：無料（昼食付）

▽定員：15名 定員になり次第締め切ります

※お申込みの方に詳細をお知らせします



中国支部 例会

福山城散策とお食事を開催します

▽日 時：11月9日（土）

▽締 切：11月5日（火）までにお申込み下さい

※定員になり次第、締め切ります

※りすシステム代表・杉山も参加します



▽締 切：11月1日（金）までにお申込み下さい
※定員になり次第、締め切ります
※りすシステム代表・杉山も参加します

8～9ページのお申込み・お問合せ



0120-889-443



りす友 おたより 紹介コーナー



7月17日の日本水彩展・名古屋展にご参加の方から、お便りをいただきました。

梅雨明け前の7月17日、愛知県美術館ギャラリー8Fにて、日本水彩展の鑑賞会に、りすシステムさんのお誘いにより初めて参加させて頂く機会を得ました。

福井先生自らの贅沢な生解説をお聞きしての水彩展に、作者の意図、伝えたい事を感じながら参加して、本当に久し振りに充実した時間が持てた事に感謝致しました。

鑑賞後のティータイムも和気藹藹と、福井先生の作品をお土産に頂戴したりと、帰宅後幸せな気持ちに包まれました。

また来年の出会いを楽しみにしています。本当にありがとうございました。



愛知県 M・M様



セコム・ホームセキュリティのご案内

日頃から健康や防犯に気を付けていても、突然何が起こるかわかりません。

りすシステムが推奨する「セコム・ホームセキュリティ」は、24時間365日休みなく、あなたの「もしもの時」に対処します。救急通報、センサーによる安否見守りサービス・防犯・火災・非常通報等に対応し、電話の応答がない場合はセコム株式会社の緊急対応員がただちに駆けつけます。異常があった場合には119番と同時にりすシステムに連絡が入ります。いのちと暮らしを守るため「セコム・ホームセキュリティ」の設置をお勧めします。

りすシステムで、緊急通報装置等の設備が付帯していない住宅の身元引受人・連帯保証人および緊急連絡先を受託する際は、セコム株式会社等が提供する安否見守りサービスの導入が必須です。

セコム説明会のご案内

東京

【日時】10月15日(火) 12:30～13:00
16:00～16:30

10月18日(金) 15:00～15:30

11月15日(金) 12:30～13:00

16:00～16:30

11月18日(月) 15:00～15:30

【会場】NPOりすシステム 東日本支部 (本部)

東京都千代田区九段北1-4-5 北の丸ガラスゲート 1F

【最寄駅】東京メトロ半蔵門線・東西線・都営新宿線

「九段下」駅(3・5・7番出口) 徒歩5分

※参加希望の方はご連絡下さい

【日時】10月12日(土) 10:00～11:00

11月12日(火) 10:00～11:00

【会場】りすセンター・新木場 東京都江東区新木場4-6-13

【最寄駅】東京メトロ有楽町線・JR京葉線・高速りんかい線

「新木場」駅よりバス8分

※新木場駅前ロータリーから送迎の用意があります

9時30分に集合下さい

※参加希望の方はご連絡下さい

名古屋

【日時】11月10日(日) 14:00～15:00

【会場】NPOりすシステム中部日本支部

名古屋市中村区名駅3-13-28 名駅セブンスタービル1211

【最寄駅】JR「名古屋」駅徒歩5分

※参加希望の方はご連絡下さい

大阪

【日時】〈生前契約説明会 終了後〉

10月7日(月) 12:00頃～/15:30頃～

11月7日(木) 12:00頃～/15:30頃～

〈談話サロン 終了後〉

10月23日(水) 14:15～15:00

【会場】NPOりすシステム西日本支部

大阪市北区東天満1-10-14 MF南森町2ビル4F

【最寄駅】地下鉄谷町線・堺筋線「南森町」駅徒歩3分

JR東西線「大阪天満」駅徒歩1分

※参加希望の方はご連絡下さい



急病時などは、ペンダント型の「マイドクター」を握るだけで、救急信号がセコムに伝わります。



室内の人の動きをセンサーで確認。一定時間動きが確認できなければ、異常事態が発生したと判断し、セコムが対応します。



Xperia Hello!
(エクスペリア ハロー)
もう一人家族がいるような安心感で、声でセキュリティの操作もできる、コミュニケーションロボットです。

※別途ご購入頂くものとなります

磯貝 香也子
(いそがいかやこ)
アシスタント

■出身地:
埼玉県川口市
■趣味: ヨガ、旅行
■性格: 明るく
プラス思考



私たちが
担当します!

土屋 美幸 (つちや みゆき)

■出身地: 埼玉県朝霞市

■趣味: 季節のお花めぐり、
森林浴

■性格: 明るく
フットワークが良い

ご自宅でお困りごとやご不安はございませんか? セコム・ホームセキュリティで皆様の安心・安全な暮らしをサポートをいたします。使い方はとっても簡単! お気軽にご相談ください。

セコム・メディカルクラブ

耳より
情報!

セコムでは契約された方への生活安心サービスとして「セコム・メディカルクラブ」を設けています。24時間365日豊富な経験を持つ看護師が対応する電話健康相談サービスや、医療機関情報の検索サービスなど、健康に役立つ情報を契約者の方々に提供しています。わざわざ病院に行くほどではないけれど、健康上のちょっとした不安があるときなど、このサービスをご利用ください!

支部



活動記

北海道・北日本支部

もいますが、一人で不安を抱え込む前に、どうぞご相談下さい。

▼最近、受診付添いや手術前説明の同席、手術の立会いサポートが多くなっています。先日40代の利用者から、「検査結果の説明があります。病院から家族の同席を求められたので、お願いできますか」との依頼がありました。結果は問題なしとのことで一安心。利用者から、「わざわざ遠い所までお越しいただき、申し訳ないです。ありがとうございます」と感謝されました。

日々元気で何の不安もなく暮らしていても、いつ何が起るかわからないのが人生です。「いざ」という時、自分ひとりで何とか解決しようとして、うまくいかず不安や不満を抱えこむ方もおられます。「こんなことを相談していいのかな」「遠いので来てもらうのは申し訳ない」等とおっしゃる方

東日本支部

北海道支部では毎月6日（1月・12月休み）、北日本支部では毎月30日（12月休み）に開催している**なんでも談話室**では、気軽なおしゃべりから情報交換、体験談の共有などもできます。お気軽にご参加下さい（日程は毎号本誌の最終ページに掲載しています）。

▼Sさん（57歳・女性）から、「がんで入院中です。説明会に行くことができませんが、急いで契約することは可能でしょうか」との電話があったのは、7月上旬のことでした。

すぐにスタッフが入院先の病院へ出張し、お話を伺いました。健康診断を毎年受け、特に気になることもなく仕事に取り組んでいたSさんでしたが、最近疲れや

すくなったことが心配になり受診したところ、末期のすい臓がんと診断されたそうです。既に他の臓器にも転移し、余命ひと月半と告げられたとのことでした。懇意にしている義理のお姉さんに迷惑をかけたくないと思い、りすシステムに連絡を下さったそうです。

そこで、りすの役割、できることを説明して納得いただき、契約を急ぐことになり、必要書類の記入・取寄せをお願いしました。

3日後、Sさんから必要書類一式が届きました。まもなく緩和ケア病棟のある病院へ転院する予定とのことで、公正証書は転院先病院での出張作成とし、公証役場と作成日を調整。初回面談から2週間ほどで公正証書を作成することができました。作成日にはお姉さんも入院先に来られ、**企画書と医療上の判断に関する事前意思表示書**と一緒に確認しました。

9月に入り、最期は自宅で迎えたいとのSさんのご希望で、退院することになりました。訪問医と

訪問看護を手配し、りすで退院サポートをする予定でしたが、その退院日にSさんは旅立ちました。

ご遺体のお迎えに伺った病室でお会いしたお姉さんから、「妹は自宅に帰りたいと言っていました。連れ帰ってもらえませんか」との申し出があり、Sさんも生前、「姉の希望があればそれに従って欲しい」と言っていたので、Sさんを自宅にお連れすることにしました。生前可愛がっていた愛犬はSさん自身で里親を探し、既に里親に託していましたが、この日は2匹ともSさん宅に戻り、一緒にSさんを見送りました。

「通夜・葬儀等の宗教儀礼は不要、柩の中に花を入れて欲しい」と記された**企画書**に基づき、希望通りの色調のお花をたくさん入れて、お別れしました。

現在、死後事務を進めています。Sさんのお付き合いはたいへん短いものでしたが、人生の仕舞いの見事さに感銘を受けています。Sさん、どうぞ安らかに。

中部日本支部

▼本誌第272号（2019年6月号）で紹介したJさん（79歳・男性）のその後です。

軽費老人ホーム入居時に、行政の紹介でりますシステムと契約したＪさん。元来お酒好きなＪさんは時々飲み過ぎて、外出先で動けなくなつて施設やりすのスタッフが迎えに呼び出されることもあり、健康への問題やホームでの生活について、懸念されていました。

そこで、本人、施設スタッフ、
りすで話し合い、当分の間、入院・
加療をすることになったＪさんで
したが、入院前検査で専門病院の
受診をすすめられ、精密検査の結
果、がんと診断されました。

自身の希望でがんの積極的な治療はしないことになり、当初予定していた病院に入院。退院後、これまで通りのホームの生活が続けられるか分からないので、介護認定の申請をし、要介護1となりました。

いったん退院し、ヘルパーのサポートを受けながら生活していたＪさんでしたが、がんの進行で日常生活に支障が始め、専門病院へ入院することになり、入院サポート・身元引受保証を行いました。

現在、積極的な治療はせず、苦痛を取り除く治療として放射線治療を受けていますが、今月下旬に退院予定です。引き続き、サポート続けます。



西日本支部

▼自宅で体調不良を訴え、救急搬送されたKさん（67歳・男性）。既往症・受診歴から、かかりつけ病院に搬送され、搬送先へ急行しましたが、病院到着時には既に心肺停止状態だったとのことで、その後、死亡が確認されました。

企画書に基づいて死後事務を進め、葬儀を執り行いました。Kさんには墓地承継者がいないため、墓じまいを希望していたので、納

骨先の合葬墓の使用承諾証書をお預かりしていました。お墓のある寺と石材店とで打ち合わせ、先日墓じまいと合葬墓への納骨を済ませました。

遺言により自宅マンションは売却することになり、りすネット不動産事業部で手続きを進めています。

中国支部

▼地域包括支援センターから、自宅で一人暮らしのOさん（85歳・女性）の件で、相談の電話がありました。

0さんには妹さん夫妻がいます
が遠くにお住まいで、近所の方が
好意で0さんの面倒をみてくれて
いるとのこと。しかし最近、その
方が貴重品やお薬などの管理をし
て下さるとの申し出があり、不安
に感じているとのこと。そこ
で0さんにりすシステムを紹介し
たところ、興味を持たれたとのこ
とでした。

数日後、Oさんと妹さん夫妻が事務所に来られ、お話を伺いまし

た。最近Oさんの入院・手術の際に妹さん夫妻がOさん宅に滞在し、家と病院を往復しながらのOさんのお世話で疲れ切ったそうです。妹さん夫妻に対して申し訳ないと思っています。Oさんは、近所の人から、「遠方の親族は役に立たないから、もっと私を頼りにして」と言われ、素直に受け入れてよいが悩んでいるとのことでした。

妹さん夫妻は一人暮らしの0さんのことを心配し、「近所の方の好意は有り難いのですが、度を越えた親切は警戒したほうが良いのでは」と、りすシステムの仕組みに興味を示され、姉妹で相談し、りすシステムと契約することになりました。

先日、公正証書の出張作成を済ませたOさんは、「心臓が悪いので暑い日の外出は不安でしたが、公証役場の先生に自宅まで出張いただき、ありがたく思います。りすシステムと契約したことを近所の方にも報告します」と、笑顔でおっしゃいました。

ご近所同士のお付き合いの中で、好意を受けることもあると思いますが、貴重品を預ける等はトラブルの原因にもなります。りすシステムのような、組織としてサポートをしているところを検討されることをお勧めします。

四国支部

▼高齢者マンションで二人暮らしをしていたYさん（80歳・男性）夫妻にはお子さんがなく、夫妻でりすシステムと契約しました。その後、奥さんの認知症が進行し、Yさんも病気がちのため施設へ移ることとし、条件に合ったサービス付き高齢者向け住宅へ転居しホッとした矢先、奥さんが亡くなりました。

奥さんの**企画書**には、「指定の着物を着せてほしい。季節の花を入れてほしい。兄弟に参列してほしい」等と記されており、Yさんと相談しながら奥さんの葬儀を執り行いました。奥さんは自身の財産をYさんへ

相続させるという遺言を作成していたので、保険や年金の手続き、通帳などのお預かりのため、アドバイザー2名でYさん宅を訪問。奥さんの死亡診断書、火葬許可証のコピーの他、死後事務に必要な書類等もお預かりし、Yさんの住所変更手続きも行いました。

四国支部に常駐のスタッフがいないことから、「緊急時のサポートはどのようにしますか？」とお問合せをいただくことがあります。契約業務などは中国・四国支部を兼任している責任者が行い、緊急時の対応は従来通り、四国在住のアドバイザーと中国支部で連携して対応しますので、ご安心下さい。

九州支部

▼一戸建住宅に一人暮らしのIさん（85歳・女性）が、りすシステムと基本契約をしたのは16年前。当時は生前契約の切換え（簡易型・標準型）の時期と重なり、ご自身も多忙な日々を送っていたようで

す。そんな中でも、**誕生日カード**に添えてお送りする**確認シート**は近況とともに返送いただき、災害時の安否確認電話には、「何事もなく無事です。ありがとうございます」と明るくおっしゃっていました。

折に触れ、公正証書作成の必要性を文書でお知らせし、お電話でもお話ししていました。基本契約のままでは、何もサポートできないこともご理解いただいていたが、よいお返事がありました。

その後も健康で、周囲の環境にも恵まれ、差し迫った問題も発生せず年月が経過したIさん。最近はりすシステムの行事に参加することも増え、利用者同士の交流も活発でした。そこで改めて次のステップに進むことを提案したところ、それならと一気に公正証書作成まで進みました。

Iさんは現在、セコム・ホームセキュリティを設置し、安心・安全な暮らしを手に入れ快適にお暮らしています。

▼自宅マンションに一人暮らしのMさん（66歳・女性）は、10年前にりすシステムと基本契約をしました。契約当初はお仕事をされていたが、その後、交通事故の後遺症が残り、さらに地震でマンションに被害を受けるといふ災難に遭いました。Mさんには妹さんがいますが、自分のことは自分でしっかり決めておかなくてはと、先日、公正証書作成が完了しました。

「公正証書作成を終え、安心しました。しかし一人暮らしの妹のことが気がかりです。どちらが先に逝くかわからないので、妹にも同様の契約を勧めたいのですが、今はどうしたらいいか、悩んでいます…」とおっしゃるMさん。りすも、何か糸口を見つけてお手伝いができればと考えています。



大分支部

▼「りす倶楽部が届いたら、一番先に支部活動記を読みます」「楽しみにしています」とのお言葉をいただくこともあり、励みに感じています。

本誌第273号（2019年7・8月合併号）掲載の、「スピー

ディーな転居を果たしたKさん（88歳・女性）」の記事を読んだTさん（77歳・女性）から、「Kさんが毎日心地よく過ごされている様子がわかり、安心しました。よろしくお伝え下さい。この記事を読んで、自分も転居したいと考えるようになりました。相談にのってもらえますか」との依頼がありました。現在、Tさんの希望を伺いながら施設を探しています。

▼本誌第271号（2019年5月号）で紹介した、Cさん（92歳・女性）の後です。

4月末に入居中の施設の部屋で倒れ、救急病院に搬送されたCさん。低カリウム血症と診断され、

脱水症状も起こしていたことからそのまま入院、翌日K病院に転院し、2ヶ月の入院生活を送りました。

住んでいた施設から、退院後のCさんの受け入れは困難と言われたので、入院中に病院の相談員と入居可能な施設を探し、退院後、住宅型有料老人ホームSへ転居しました。

Cさんの希望は、「大分駅に近く、部屋が広い施設」でしたが、Sは大分市郊外にあり、部屋はベッドとクローゼットが配置された、シンプルな二人部屋です。Cさんの希望に叶っているとは言えませんでした。ここにはりすシステムの利用者が2名入居しており、日頃からスタッフの真摯な働きぶりや、入居者一人ひとりに向き合う姿勢を目にしていたので、施設とも相談し、Cさんも納得されて入居が決まりました。

転居から3ヶ月が経過したCさんは、懸念していた食欲に改善が見られ、三食を完食しているそうです。最近ではデイサービスに参

加し、パズルに熱中したり、クレパスで絵を描いたり、お友だちもできた様子で、訪問するといつも笑顔で迎えてくれます。その笑顔は、たくさんの人に支えられ、守られ、おしゃべりしながら、楽しく日々を過ごしている証だと感じ、この施設を選んでよかったと思っています。

先日施設から、「Cさんが『施設では肉も魚も出ないので外食したい』と言っているので、連れて行ってもらえますか」との依頼があり、車椅子のCさんの対応に、アドバイザー2名で出かけました。ショッピングセンター内のレストランでCさんが選んだメニューは「四元豚

ロースかつ卵とじ定食」。ご飯は五穀米の普通盛り、時間をかけゆっくりとよく噛み、すべて残さず召し上がり、アドバイザー2名で思わず拍手。

嬉しそうなCさんを見ながら、好物を食べることができるのは幸せなことだと実感しました。

食後、文具コーナーに立ち寄って買い物をし、草餅とお茶でおやつタイム。また行きたいとのリクエストをいただき、おなかも心も満たされた一日となりました。

Cさんが安心して楽しく暮らせるのは、施設スタッフ、病院の相談員はじめ、多くの人々の協力があったからと感謝の気持ちでいっぱいです。引き続きりすシステムも、契約家族としてCさんをサポートしていきます。

施設の玄関に飾られている
Cさんの作品です





地球に恩返しTシャツ・ポロシャツ



人気のカラーです！



カラフルでかわいいロゴ付きの〈特製Tシャツ・ポロシャツ〉です。お買い上げ金額の一部を、りすシステムから「地球に恩返し基金」へ寄附いたします。ご協力よろしくお願いいたします。通信販売も承ります。ご希望の方は0120-889-443までご連絡下さい。

Tシャツ

■定価：2,000円（税・送料込み） ■サイズ：S・M・L
■カラー：ホワイト・ピンク・イエロー・ライトグリーン・ライトブルー

ポロシャツ

■定価：2,500円（税・送料込み） ■サイズ：S・M・L・LL・3L
■カラー：ピンク・ネイビーブルー

地球に恩返し運動について

私たちの生命を育んでくれている地球!! このやさしい地球に少しでも恩返しをして、次世代に美しい地球を残しませんか。皆さまのご寄附で「地球に恩返しの森」に植樹ができ、銘板にあなたのお名前が刻まれます。

※匿名希望の方は、振込用紙の「通信欄」に「匿名希望」と、ペンネーム希望の方は「ペンネーム」を明記の上、「ご依頼人欄」には必ずお名前をご記入ください。



NPO りすシステム
NPO 地球に恩返しの森づくり推進機構

地球に恩返し運動本部

連絡先：TEL.03-5215-2383

地球に恩返し 基金振込先

● 郵便局から振り込む場合

郵便局口座番号：00140-7-743432
加入者：地球に恩返し基金

● 他行からゆうちょ銀行に振込む場合

店名：〇一九（ゼロイチキキュウ）
種目：当座 口座番号：0743432
加入者：地球に恩返し基金



「地球に恩返し基金」に寄附をいただき、ありがとうございました

青木 マサ子さん（東京都豊島区）
かい ゆうこさん（埼玉県所沢市）
鎌田 泰助さん（埼玉県上尾市）
志村 和子さん（東京都豊島区）
高橋 トキさん（埼玉県所沢市）
高原 法子さん（千葉県船橋市）
竹之内 理絵さん（東京都台東区）

鳥井 信彦さん（東京都文京区）
鳥井 美子さん（東京都文京区）
丹羽 昌枝さん（奈良県桜井市）
糠信 八重子さん（東京都品川区）
藤井 和男さん（東京都北区）
細矢 ヨシエさん（神奈川県川崎市）
味野和 千枝さん（宮城県仙台市）

村岡 彌太郎さん（大分県大分市）
村岡 美代さん（大分県大分市）
森川 喜久枝さん（兵庫県尼崎市）
M・Mさん（東京都杉並区）
渡邊 弘枝さん（東京都豊島区）

50 音順

※ 2019年7月1日～8月31日の期間、19名の方から寄附をいただきました。

※ M・Mさんが1000ポイントを達成されました。



● なんでも談話室 ●

◎なんでも談話室は、開催時間中ならいつでも自由に参加できます。

北海道支部	日時：10月6日（日）11時～15時 日時：11月6日（水）11時～15時	会場：北海道支部事務所 会場：北海道支部事務所
北日本支部	日時：10月30日（水）11時～15時 日時：11月30日（土）11時～15時	会場：北日本支部事務所 会場：北日本支部事務所
東日本支部	日時：10月18日（金）11時～15時 日時：11月18日（月）11時～15時	会場：北の丸ガラスゲート1階 会場：北の丸ガラスゲート1階
中部日本支部	日時：10月10日（木）13時～15時 日時：11月10日（日）13時～15時	会場：中部日本支部事務所1211号室 会場：中部日本支部事務所1211号室
中国支部	日時：10月5日（土）13時～15時 日時：11月2日（土）13時～15時	会場：中国支部事務所 会場：中国支部事務所
四国支部	日時：10月25日（金）13時～15時 日時：11月25日（月）13時～15時	会場：四国支部事務所 会場：四国支部事務所
九州支部	日時：10月29日（火）13時～15時 日時：11月29日（金）13時～15時	会場：九州支部事務所 会場：九州支部事務所
大分支部	日時：10月22日（火）13時～15時 ※11月のうたごえサロンはお休みです	会場：大分支部事務所

● 談話サロン ●

西日本支部	日時：10月23日（水）12時～14時 日時：11月23日（土）12時～14時	会場：西日本支部事務所 詳しくは8ページ参照 会場：西日本支部事務所 詳しくは8ページ参照
-------	--	--

● 生前契約説明会・私のおぼえがき講座 ●

支部	電話番号	生前契約説明会		私のおぼえがき講座	
北海道支部	011-756-4165	5日（1月休み）	13:30～15:00	随時開催	
北日本支部	022-797-2072	2日（1月休み）	13:30～15:00	随時開催	
東日本支部	0120-889-443 03-3511-3277	10日 会場：九段下	11:00～13:00 14:30～16:30	15日 会場：九段下	11:00～12:30 14:30～16:00
		24日（3・9月休み） 会場：巣鴨	13:00～15:00		
		10月8日、11月6日 会場：横浜	10:30～12:30	10月25日、11月26日 会場：横浜	10:30～12:30
中部日本支部	052-569-2254	25日	13:00～15:00	随時開催	
西日本支部	06-6809-2289	7日	10:30～12:00 14:00～15:30	26日	10:30～12:00 14:00～15:30
中国支部	082-568-1585	28日	10:30～12:00	随時開催	
四国支部	089-933-5670	25日	11:00～12:30	随時開催	
九州支部	092-738-2718	24日	13:30～15:00	随時開催	
大分支部	097-538-6263	27日	13:30～15:00	随時開催	

例会・見学会・談話サロン・法律相談のお申込み先



0120-889-443

生活支援テレホン



0120-332-206

24時間365日いつでも りすセンター・新木場



0120-373-959

（海外からご利用の場合）+81-3-3522-5660